



校長室の窓

ひたむき + めくもり + さわやか = 誠実(せいじつ)

～ あなたは自分の行動に、心を込めていますか？ ～

福栄小 中学校のめざす児童生徒像は、「ひたむきな児童生徒」「めくもりのある児童生徒」「さわやかな児童生徒」です。この3つには、福栄小 中学校の9年間で、こんな児童生徒に育てほしいという先生方の思いと願いが込められています。めざす児童生徒像は、各クラスの教室の黒板の上に掲示してあるので、知らない人はいないはずで、「ひたむき」とは、心を込めて一生懸命物事に取り組むことです。「めくもり」とは、人に対する優しさや思いやり、ほんわかとした温かい心です。「さわやか」とは、自分のまわりの人たちや自分と関わる人たちをよい気持ちにさせる態度や行動です。

もし、この「ひたむき」「めくもり」「さわやか」をまとめて1つの言葉で表現するとしたら、どんな言葉になるのだろうかと考えてみました。私は、ひたむき + めくもり + さわやか = 誠実 ではないかと思えます。国語辞典で、「誠実」の意味を調べてみると、次のように書いてありました。「いつわりがなく、まごころがこもっていること」言い換えると、「うそがなく、心がこもっている」ということです。この誠実というメガネで、皆さんの毎日の生活を見てみると、首をかしげるようなことがいろいろとあります。3つほど、具体的な場面を取り上げてみたいと思います。

《あいさつや会釈》

人の顔を見ていないあいさつ、声が小さいあいさつ、きちんと立ち止まっていない会釈は、相手の心に届きません。なぜならば、その人の心が伝わってこないからです。

バスの運転手さんへのあいさつと会釈、バスから降りたときのあいさつと会釈、地域の人へのあいさつと会釈、あなたのあいさつと会釈には相手に対する心がこもっていますか？



《感謝の言葉》

ボソボソと小さな声での「ありがとうございました」は、相手の心に届きません。なぜならば、言葉にその人の体重がかかっていないからです。読み聞かせボランティアの方や外部から来られてお世話になった方へのあなたの感謝の言葉には心がこもっていますか？あなたの体重がかかっていますか？

《掃除の取組》

自分は、学校の中の大切な場所を任されているんだという気持ち、そして、任された場所は責任をもって徹底的にきれいにするぞという気持ちに欠けた掃除は、その姿を見ている人の心にさわやかな気持ちを伝えることは、決してありません。そして、掃除をした場所も、きれいにはなっていないでしょう。掃除は正直です。その人の心が表れるからです。あなたは、毎日どんな掃除をしていますか？

